

## 第 3 章

### ダイオキシン類の測定結果



## 第3章 ダイオキシン類の測定結果

### (1) 河川（水質及び底質）

#### 1 測定の概要

##### (1) 測定期間

令和2年4月～令和3年2月

##### (2) 測定地点

水質 21河川、37地点（図3-1）

底質 20河川、33地点（図3-2）

##### (3) 測定回数

水質	春・夏・秋・冬期の年4回	12地点
	秋・冬期の年2回	6地点
	秋期のみ年1回	19地点

底質	秋期のみ年1回	33地点
----	---------	------

##### (4) 測定項目及び測定方法

表3-1のとおり

##### (5) 測定機関

- ・埼玉県
- ・国土交通省
- ・さいたま市
- ・川越市
- ・川口市
- ・越谷市
- ・所沢市
- ・独立行政法人水資源機構

上記の機関名称は、調査実施時(令和2年度)におけるものである。

## 2 調査結果の概要（資料3-1）

### (1) 河川水質

河川水質の調査結果(年間平均値)は、0.013～1.5[pg-TEQ/L]の範囲であり、7地点(5河川)で環境基準(年間平均値1[pg-TEQ/L]以下)を超過した。

### (2) 河川底質

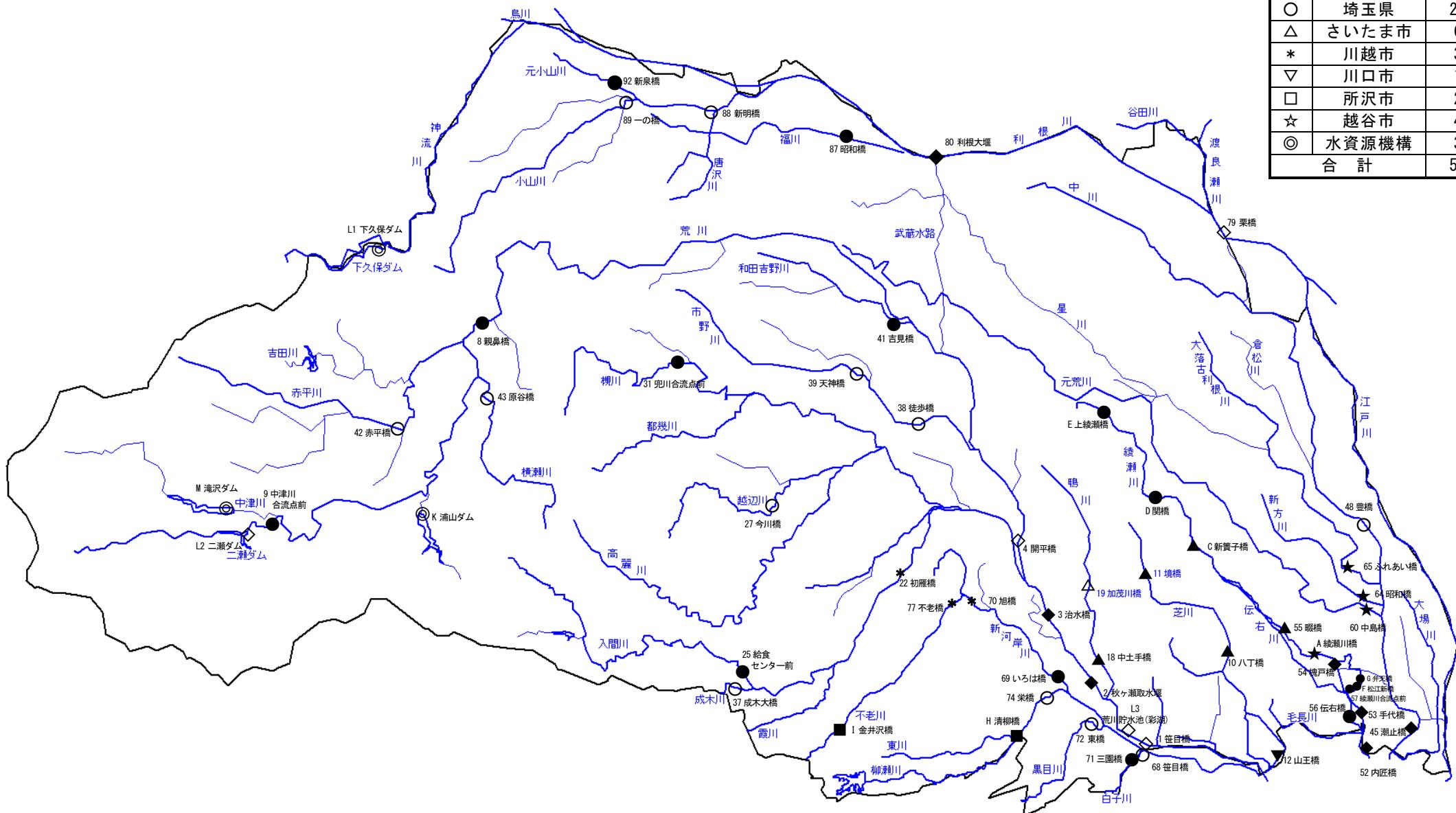
河川底質の調査結果は、0.084～270[pg-TEQ/g]の範囲であり、1地点(1河川)で環境基準(150[pg-TEQ/g]以下)を超過した。

ダイオキシン類常時監視地点図 別図1

令和2年度調査地点：黒塗り部分

(公共用水域)

## 河川水質

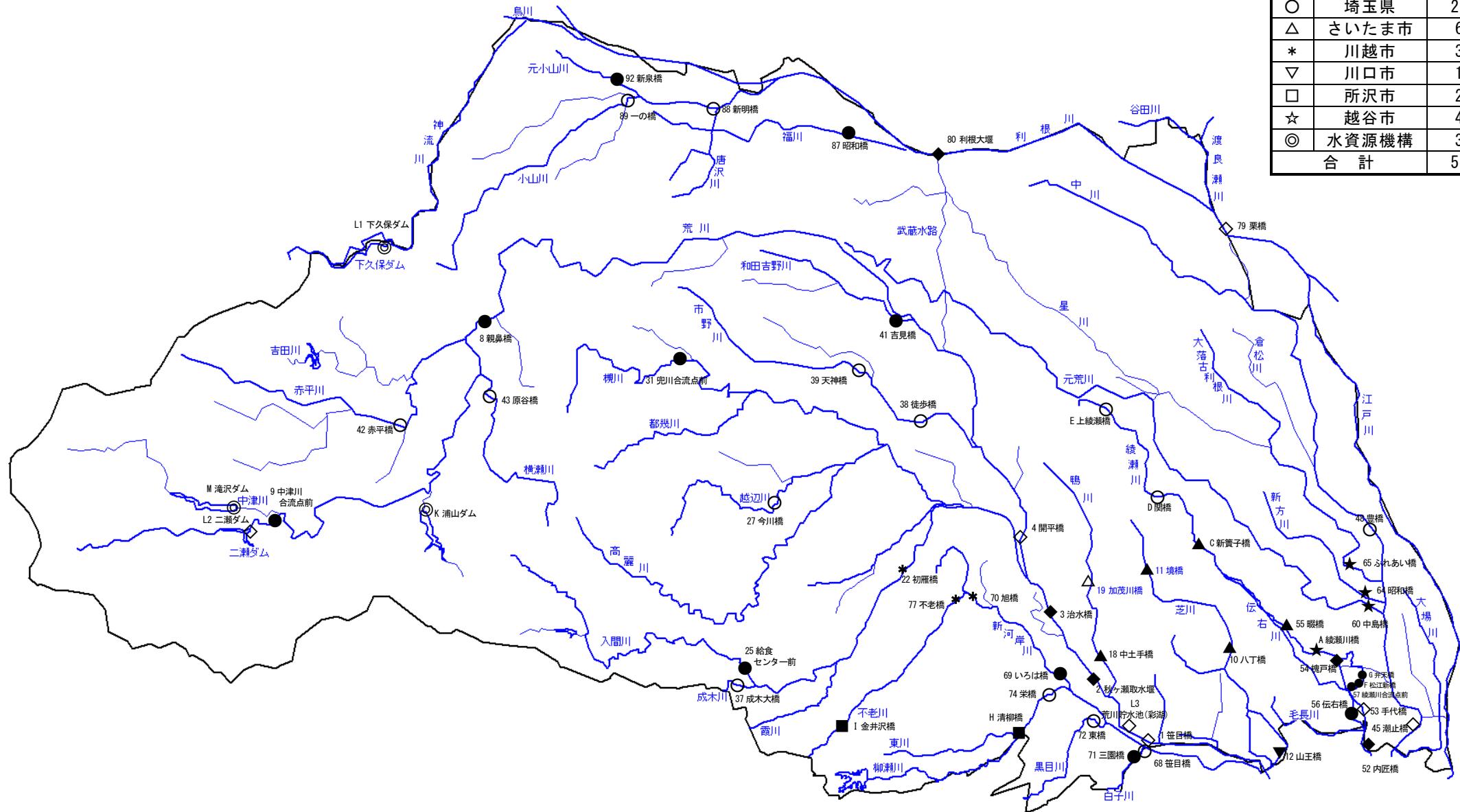


ダイオキシン類常時監視地点図 別図2

令和2年度調査地点：黒塗り部分

(公共用水域)

河川底質



測定機関	地点数
◇ 國土交通省	12
○ 埼玉県	27
△ さいたま市	6
* 川越市	3
▽ 川口市	1
□ 所沢市	2
☆ 越谷市	4
◎ 水資源機構	3
合 計	58

**表3-1 測定項目及び測定方法**

(1) 水質

測定項目	記号	測定方法	
ダイオキシン類		JIS K0312	
観測項目	天候(前日・当日)		
	採取位置		
	採取水深		
	気温		JIS K0102(以下「規格」) 7.1
	水温		規格 7.2
	色相		
	濁り		
	臭氣		規格 10.1
	透視度		規格 9
	河川流量		水質調査方法(昭和46年9月30日 環水管第30号)
その他の項目	水素イオン濃度	p H	規格 12.1
	浮遊物質量	S S	水質汚濁に係る環境基準について 付表9 (昭和46年12月28日 環境庁告示第59号)
	導電率	E C	規格 13

## (2) 底質

測定項目		記号	測定方法
ダイオキシン類			ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル (平成21年3月 環境省水・大気環境局水環境課)
観測項目	天候(前日・当日)		
	色相		
	臭氣		規格 10.1
	採取位置		
	状態		堆積物、砂、泥などの別
物理・化学的項目	水素イオン濃度	p H	底質調査方法 II-4. 4
	含水比		底質調査方法 II-4. 1
	強熱減量		底質調査方法 II-4. 2
	粒度組成		JIS A1204
	全有機炭素		底質調査方法 II-4. 10
	硫化物		底質調査方法 II-4. 6

注)

- 1 JIS K0312とは「日本産業規格K0312(2008年)」をいう。
- 2 JIS K0102とは「日本産業規格K0102(2016年)」をいう。
- 3 JIS A1204とは「日本産業規格A1204(2009年)」をいう。
- 4 底質調査方法とは「底質調査方法(平成24年8月8日 環水大水発120725002号)」をいう。

## (2) 地下水

### 監視の概要

ダイオキシン類対策特別措置法第26条第1項の規定に基づき、地下水の常時監視を実施した。

#### 1 調査期間

令和2年7月～令和2年12月

#### 2 調査機関

埼玉県、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、所沢市、越谷市

#### 3 調査地点数

12地点（12市町）

#### 4 調査結果

結果は0.014～0.062 pg-TEQ/Lの範囲であり、全地点でダイオキシン類の環境基準（1pg-TEQ/L以下）を達成した。

### ( 3 ) 土 壤

#### 監 視 の 概 要

ダイオキシン類対策特別措置法第26条第1項の規定に基づき、土壤の常時監視を実施した。

##### 1 調査期間

令和2年8月～令和3年2月

##### 2 調査の種類及び調査地点数

一般環境把握調査（市実施） 31地点（12市）

##### 3 調査結果

結果は0.0020～97pg-TEQ/gの範囲であり、全調査地点で環境基準（1000pg-TEQ/g以下）を達成した。